

人 気 女 子 ア ナ

真 凜 二 十 四 歳

第四卷

女子アナのHなハプニング映像

海老沢 薫 著

内 容

■ 著作権について

■ ま え が き

■ 第一章 ゴルフ場でのストリップショー

■ 海老沢薫 B L O G

■ 海老沢薫 Web連載小説

■ 著作権について

「人気女子アナ 真凜二十四歳 第四巻 女子アナのHなハプニング映像」(以下本書と表記する)の著作権は「海老沢薫」にあります。
す。
・本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によつて保護されています。
・「海老沢薫」が事前に書面をもつて許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー)により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。
す。
・著作権の侵害につきましては、著作権法第61条などの罰則がありますのでご注意ください。
い。

■ まえがき

ゴルフ番組の収録が行われているゴルフ場で、弱みを握られている女性ディレクターらの陰湿な企みにより、着ている物を全て脱がされ、一糸纏わぬ姿になった人気女子アナの小川真凜。

それから番組MCを務める真凜は一糸纏わぬ恰好のままゴルフをプレーする羽目になり、羞恥に悶えるあまりミスショットを連発し、ゲストの女子プロゴルファー早川と番組の女性ディレクターが決めた屈辱の罰ゲームを受けることになるのだった。

「それじゃあ、真凜ちゃんはトリプルボギーだったので、罰ゲームとしてこれから早川プロにパターで真凜ちゃんのアソコの穴にボールを全部で三個打ってもらいます！」

女性ディレクターが高らかにそう告げると、人気女子アナの新たな恥辱の罰ゲームが始まり・・・。

「真凜ちゃん、エッチな顔して随分と嬉しそ
うじゃないへ笑」
「真凜ちゃんのアソコの穴って結構大きいの
ね。私ビックリしちゃったへ笑」
パターンを打つ早川はボールが見事に穴にカツ
プインすると満面の笑みを浮かべ、羞恥と快
感に喘ぐMCの女子アナを罵った。
やがて、罰ゲームをようやく終えた真凜が
次のホールに向かうと、なんとそこには二十
人ほどのサプライズゲスト達がギャラリ―と
して待ち構えていたのだった。
「ヤダあ、信じられない、真凜ちゃん素っ裸
よ」
「ちよつとウソでしょ、真凜、どうしてスッ
ポンポンでプレーしてるのよ」
「キヤッ、小川先輩がオッパイもオケケも
丸出でゴルフしてるなんてショックう」
真凜の思いがけない姿を見て騒然となるギャ
ラリ―の彼女達は、なんと真凜の大学時代の
女子ゴルフ部の仲間達だったのだ。

「いやああん、どうしてみんなが此処にいるの・・」

想定外の事態に怯えるMCの女子アナは、これから昔の仲間達の前で途轍もない生き恥を晒すことになるのをまだ知らなかった。

■ 第一章 ゴルフ場でのストリップショー

人気女子アナの小川真凜は、初めてMCを務めることになったゴルフ番組の収録が行われているゴルフ場のグリーンで羞恥に全身を小刻みに震わせていた。第一回目の放送のゲストである女子プロゴルファー、早川瑞穂とスコアを競い合うことになった真凜は、あるうにか罰ゲームを受ける羽目になり、番組の女性ディレクターやゲストの早川の企みにより、二ホール目で体に唯一纏っていた超ミニスカートを脱がなければいけなくなったのだ。収録現場にいる番組スタッフ達は皆興奮した様子で目をギラギラと光らせながら羞恥に喘ぐ人気女子アナを眺めていた。ああん、もう脱ぐしかないんだわ。番組の女性ディレクターやスタッフ達に自らの恥ずかしい弱みを握られている真凜は、ここで抵抗するわけにもいかず覚悟を決めるしかなかった。

超ミニスカートのホックを外し、震える手でそれを下ろしていく真凜。
「オオッー」
MCの人気女子アナがゴルフ場のグリーンで一糸纏わぬ姿になると、番組の男性スタッフ達の間から大きなどよめきが起きた。
「ああん、恥ずかしい」
野外でついに素っ裸になった真凜は思わず喘ぎ声を漏らすと、すぐに両手で胸元と股間を隠した。
「真凜ちゃん、体を隠しちゃダメよ！」
女性ディレクターが厳しい口調で叱責すると真凜はディレクターの方を恨めしそうに見つめ、両手を体の横に垂らして、グリーン上で生まれたままの姿を晒した。
「真凜ちゃん、乳首がビンビンになってるけど、ゴルフ場でスッポンポンになって、そんなに嬉しいの？」
真凜と同級生の早川は笑いを必死に堪えながら真凜に問い掛けた。

「あぁん、そんなことないです・・・」
自らの恥ずかしい性的反応を露骨に指摘され
た真凜は、今すぐこの場から消えてなくなり
たい気持ちで一杯だった。
「それじゃあ真凜ちゃん、残りのコースはそ
のままの恰好でプレーしてもらおうから、よろ
しく」
女性ディレクターが事務的な口調でそう告げ
ると、真凜は素っ裸のまま早川の運転するカ
ートに乗って次のコースへと移動した。フフ
ッ、面白くなってきたわね。女子アナが素っ
裸でゴルフするなんて最高だわ。早川は心の
中でそう呟きながら、真凜が羞恥に喘ぐ姿を
意味深な表情で眺めた。
そうして、三ホール目のティーグラウンドに
立ったMCの真凜は、カメラに向かって台本
通りに次のコースの説明を始めた。素っ裸で
カメラの前に立つ人気女子アナは、必死に平
生を装うとしていたが、その表情はどこか強
張っていて、脚元はガクガク震えているのが

分かった。勿論、実際のオンエアでは真凜の体にはC Gでゴルフウェアが施されることになっっているため、視聴者は誰もMCの人気女子アナが全裸で番組収録しているなどとは思わないだろうが、その不自然な様子には違和感を覚えるに違いなかった。

「それでは早速、次のラウンドを始めたいと思います！」

真凜はぎこちない笑顔を浮かべながら台本通りにそう掛け声を上げると、素っ裸のままゴルフクラブを手に持った。

「真凜ちゃん、このホールはボギー以上だったら罰ゲームね」

女性ディレクターは意味深な表情でそう告げると、再び早川と二人で罰ゲームの内容について話し合った。

「真凜ちゃん、このホールの罰ゲームが決まったわよへ笑」

早川との相談を終えた女性ディレクターは満面の笑みを浮かべ、罰ゲームの内容について

真凜に説明した。それによれば、グリーン上に真凜が脚を大きく開いて座り、真凜の秘部にボールの穴に見立てて、早川がそこを目がけてパットを打つという何とも卑猥な罰ゲームであつたのだ。

「いやああん」

罰ゲームの内容を聞いた真凜は思わず恥ずかしい喘ぎ声を漏らした。

真凜は、自分の尊厳を踏みにじるようなあまりに酷い罰ゲームに憤りを覚えると共に、秘部にゴルフボールを入れた時のことを想像して思わず感じてしまったのだった。

「真凜ちゃん、アソコにゴルフボールを入れてもらいたいからって、わざと手を抜いたりしないですよへ笑」

早川がそう言つて冷やかすと、真凜は心の奥の淫靡な思いを見抜かれたように感じ、何も言い返す事ができなかった。

そうして、真凜は素っ裸のままゴルフクラブを構え、第一打を振り抜いていった。

「あああん」
ボールを打った瞬間、豊かな乳房が激しく揺
れ、真凜は恥ずかしい喘ぎ声を漏らした。
「真凜ちゃん、ちよつと右の方に行き過ぎた
わね」
女子プロの早川が空を見上げながらそう呟く
ように、真凜の打ったボールは右側にあるバ
ンカーの中へと落ちたのだった。
「真凜ちゃん、この後リカバリーしないと罰
ゲームになっちゃうわよへ笑」
早川が意味深な笑みを浮かべながらそう脅す
と、真凜は裸の体を小刻みに震わせた。
それから早川の第一打が見事フェアウェイ
ど真ん中に落ちると、二人はカーフトに乗って
真凜の二打目の場所へと向かった。
「真凜ちゃん、これヤバくない？」
早川はバンカーの底に落ちている真凜のボー
ルを見つけると、そう呟いた。なんと、真凜
のボールが落ちたバンカーは想像以上に深く
一メートル以上もの高さがあったのだ。いく

ら大学生時代にゴルフ部だった真凜とはいえ、このバンカーからボールを出すのは至難の技のようには思えた。ああん、どうしよう・・・ボギー以上であれば罰ゲームという過酷な状況の中で、手痛いミスをしてしまった真凜は精神的に追い詰められた。うに強くボールを叩くのもー早川がそうアドバイスを送ると、バンカーの対にボールを外へ出してみせるわ。真凜は心の中に素っ裸で立った真凜は小さく頷いた。絶を込めてクラブを振り抜いた。の、途中でそう自分に言い聞かせると、渾身の力ーいやああんーボールを強く打った瞬間、バンカーの砂が嵐のようには舞い上がって、素っ裸の体に降りかかり、真凜は思わず呻いた。そしてボールはバンカーの外へ飛び越えることができず、無情にも再び真凜の脚元に転がり落ちてきたのだった。全身砂まみれになってしまった素っ

裸の人気女子アナは、脚元に落ちたボールを
無念の表情で眺めた。
「真凜ちゃん、凄い恰好になっちゃったわね
へ笑」
早川が砂まみれの真凜を見て笑うと、周りに
いる女性ディレクターや番組スタッフ達の間
からも嘲笑が漏れた。
「さあ、早く第三打を打ってちょうだい！」
いつまでもバンカーの底で項垂れているMC
の女子アナに女性ディレクターが呼び掛ける
と、真凜はどうにか気持ちを切り替え、再び
クラブを構えた。もしもボールがバンカーの
外に出なければ、ほぼ罰ゲーム決定とあって
もおかしくなかったため、真凜は羞恥を必死
に堪えプレーに集中し、おもいきりボールを
叩いていった。
すると、再びバンカーの砂が勢い良く舞い
上がり、さつきよりも大量の砂が真凜の全身
に降りかかった。

「キャッー」

真凜が砂埃に悲鳴を上げる中、ボールはどうにかバンカーを越えてフェアウェイまで飛んだのだった。

「ナイスリカバリ！」

早川は手を叩いて真凜のバンカーショットを讃えたが、その表情は明らかに砂まみれになった人気女子アナを嘲笑っていた。

「ああん、もうイヤあ」

真凜は砂まみれになった体を拭くものをスタッフに求めたが、皆、エグい姿になった真凜を嘲笑うばかりで、誰もMCの女子アナにそれを貸そうとする者はいなかった。

而して、真凜は砂まみれになった全裸姿でプレーを続けることになり、グリーン上のピンを目がけて四打目を放っていった。

「いやああん」

ボールを打った瞬間、真凜は再び恥ずかしい声を漏らした。なんとボールはまたしても右へ曲がり、グリーン横のバンカーに落ちてしまったのだ。

「真凜ちゃん、またバンカー入っちゃったね
へ笑」
真凜の罰ゲームがこれでほぼ決定したことを
確信した早川は、必死に笑いを堪えていた。
そして、女性ディレクターや他の番組スタッ
フ達も皆同じように笑いを堪えながら哀れな
人気女子アナの姿を眺めていたのだった。

■ 海老沢薫 B L O G

<http://kaoruebisawa.blog.fc2.com/>

・ ・ ・ 「羞恥」 「露出」 「辱め」 をテーマとした小説シリーズや、各種コンテンツ情報などを配信。

■ 海老沢薫 Web 連載小説

『 清楚な美人妻 彩 27 歳 絵画モデル編 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=9281>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 国民のペットへと堕ちていくヒロイン ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18802>

『 清純派女優 結衣 24 歳 ー 女神の憂鬱 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=26675>

『 女教師 玲奈 25 歳 ー 女性教諭の前代未聞の不祥事 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=17186>

『 美人社長 里帆 26 歳 ー 若き女社長のプライドを砕く屈辱の契約 ー 』

<https://regimag.jp/bo/book/detail/?book=18885>